

特定公共賃貸住宅入居申込書

阿南町長 殿

下記のとおり、特定公共賃貸住宅 団地
 の入居を申込みます。
 なお、記載事項が事実と相違する場合は、
 入居の資格を取消されても異議を申しません。

申込年月日		年	月	日
申 込 者	本籍			
	現住所			
	氏名			
	TEL	()	-	

氏名	続柄	生年月日	収入	勤務先 名称・所在地・TEL
入居 予 定 者	本人	1	有・無	()
	同居 家 族	2	有・無	()
		3	有・無	()
		4	有・無	()
		5	有・無	()
同居 以 外 の	扶養 親 族		有・無	住 所 T E L
			有・無	
			有・無	

添付書類	1. 申込者及び同居親族全員の記載されている住民票[1通] (婚姻予定者等、現在別居の状態にある者については、それぞれの住民票[各1通]) 2. 申込者及び同居親族全員について、前年度の所得に係る市長村長発行の所得証明[1通] ただし、前年度の所得証明のとれない場合(毎年1月～6月の期間)に申込者及び同居親族のうち所得 がある者全員について、次の及びの双方の書類[各1通] 前々年度の所得に係る市長村長の発行の所得証明 前年の所得を証する書面給与所得者は、源泉徴収書。事業所得者は、確定申告書の写し又は収支明細書 3. 納税証明書
------	---

住宅困窮理由 印をつける	要 因	特に住宅を必要とする理由を 詳細に記入すること。
	1、住宅以外の建物、又は場所に居住している。 2、老朽その他の事由により保安上危険、又は衛生上有害な状態にある住宅に居住している。 3、他の世帯と同居している。(間借り及び雑居を含む) 4、同居しようとする親族(婚姻の届をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む)があるが、分散して生活している。 5、婚姻による需要 6、現在の住宅の規模及び間取りと世帯構成の関係から衛生上又は風紀上不適当な状態にある。 7、立ち退き要求を受けているが立ち退き先がない。(関係書類提出) 8、住宅がないため通勤場所から著しく遠隔地に居住している。 9、毎月の収入に比較して、著しく過大な窮賃の支払いをしている。 10、その他の理由。	

現在の 状 況	居住の区分 (該当するものに印)	持家 借家(公社住宅・公団住宅・他の公営住宅・民営) 間借 下宿 社宅 寮 その他()
	使用状況	間数及び畳数 1ヵ月の家賃 居住年数 住宅に入居を 申し込んだ回数 環 境 備 考 室 畳 円 回 良・悪

(記入上の注意) 「同居以外の扶養親族」の欄は、控除対象配偶者及び扶養親族で 団 地へ同居しないものを記入する。	受付印
--	-----

私又は私と現に同居し、若しくは同居しようとする親族が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員でないことを誓約します。

暴力団員であるか否かの確認のため、阿南警察署へ照会がなされることに同意します。

「入居資格審査処理欄」

1、同居親族の状況

(1) 一般入居(人数を記入すること)

・配偶者(婚姻予約者含む)	[]人
・父 母	[]人
・子	[]人
・その他の親族	[]人
計 []人			

2、収入の状況

収入月額	=

所得計	-	同居人数	+	同居外数)	×	万円	+	老人		
×	万円	+	障害者	×	万円	+	特 障	×	万円	+	老年
+	寡婦寡夫	+	特 定)	×	1	12				

《一 般》 1 5 8 , 0 0 0 円 < 収入月額 4 8 7 , 0 0 0 円

《単身者用》 1 5 8 , 0 0 0 円 < 収入月額 4 8 7 , 0 0 0 円

1 5 8 , 0 0 0 円に満たない場合所得の上昇が見込まれる者

《災害・不良住宅の撤去などその他の特別の事項》

1 5 8 , 0 0 0 円 < 収入月額 4 8 7 , 0 0 0 円